

ハンセン病問題との出会いは、小学生のころの一冊の本からであった。『ぼらの心は海をわたった』というタイトルの惹かれて読み、リデル女史や光田医師の生き方に陶酔し、食卓でその話を出すと、両親は難しい顔で、小学生の私は何となく気が引け、それきりに…。

ハンセン病問題について学習する機会を得て、今まで見えなかったことが見えてきた。一つの事実が伝え方・捉え方次第で何色にでも変えられることに、声が出そうになるくらい驚いた。私の両親がかつてそうであったように、ハンセン病に対する無知や偏見は、いまだに多くの人が抱えている問題だ。しかし、正しい知識を身につけるにはそれなりの時間と労力もかかるので、個人では限界もある。だから、行政や学校が学習の機会を提供することには意義がある。

市人権・同和教育研究大会で西条南中学校の発表を聞き、学校・家庭・地域が連携しての取り組みに感動した。大島青松園（ハンセン病回復者の療養所）に何度も足を運ばれ、真実の掘り起こしとネットワーク作りにかけた甚大な努力

は、人権啓発劇『ふるさと』に確実に反映されていた。その後、南中学校に入園者のお二人をお招きし『おかえりなさい集会』を開かれたそう。お二人が心から笑って故郷の地を踏みしめられるようにと、地域や学校での啓発活動は続けられているとのこと。ハンセン病問題への取り組みが、校区全体に人権文化の風を起しているように感じた。一方、西条東中学校の発表からは日々の人権・同和教育の授業を大切にしている姿勢が伝わり、日常の充実こそ実践力を培うということを学んだ。人権劇への取り組みやPTAとの連携などを通し、身の回りの問題に気づき解決できる生徒が地域と共に育っている。

二つの発表を聞き、人とのつながりが人生の醍醐味ではないかと考えた。自分の世界に逃げ込むのは簡単だが、それだけでは味気ない。多少の摩擦も楽しみながら、人との交わりを大切にできれば、人生はきっと何倍も面白くなるであろう。家事もそこそこに学習会へ出掛ける私を笑顔で見送ってくれる家族を含め、仲間あればこそ道は開けるものと信じた。

ありがとうございました

次の方々からご厚志をいただきました。厚くお礼申し上げます。（順不同 敬称略）

■まごころ銀行へ

▽安部和彦（天神）▽高橋富美子（吉田）▽白石修一（三津屋）▽笹本陽地（三津屋）▽越智孟（三芳）▽故杉野友美（国安）▽河上静次（上市）▽今井美鈴（小松町安井）▽そがめ歌謡教室▽西条高等学校▽多賀小学校PTA▽多賀小学校昭和15年入学生一同▽二十四元気会▽ふじ美会

■老人ホーム明水荘へ

▽生け花指導 稲住育子（下島山甲）▽散髪 伊藤泰博（明神木）▽新聞 芥川秀人（神拝甲）▽押し花指導 佐藤ミヨ・秋月理作子（大町）、長瀬 皋（中野甲）▽大正琴・歌・踊り・プレゼント 西条市退職女教師の会▽楽器演奏 西条市民吹奏楽団▽菓子ほか 大町連合自治会福祉部▽大正琴ほか 西条公民館大正琴グループ

■老人ホーム石燧園へ

▽縫物奉仕 周桑天理教婦人部

■特別養護老人ホーム道前荘へ

▽奉仕活動 森本政美▽喫茶・カレンダー作り コープえひめ福祉グループ▽清掃作業 小松ともしび会▽ひな祭り 石根保育所▽誕生会・歌 喜多台カラオケ親睦会▽琴演奏 小松高等学校日本音楽部

■図書が寄贈されました

3月29日(日)に、国際ソロプチミスト西条から「ソロプチミスト西条桜文庫」として、1,000冊の児童書が市へ寄贈されました。これらの図書は、6月にオープン予定の西条図書館の蔵書として来館者の皆さんにご利用いただきます。



人権擁護委員が委嘱されました

4月1日付けで、法務大臣から次の方々が入権擁護委員に委嘱されました。

■再任 井門喜代美氏（下島山甲）

■新任 宮内哲彦氏（明屋敷）、今井 幸氏（大町）

人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づき委嘱された、あなたの街の相談パートナーです。暮らしの中での悩みや心配事、困り事のある方は、ぜひお近くの人権擁護委員にご相談ください。

相談は無料で、秘密は固く守られます。

◆問合せ 市庁舎本館市民生活課 市民相談係 TEL0897-52-1243



宮内哲彦氏
（明屋敷）



今井 幸氏
（大町）

